

2019年度 理工学図書館LS講習会
1/10(金)、1/21(火)開催

大学院進学時に必要な 3つの心構え

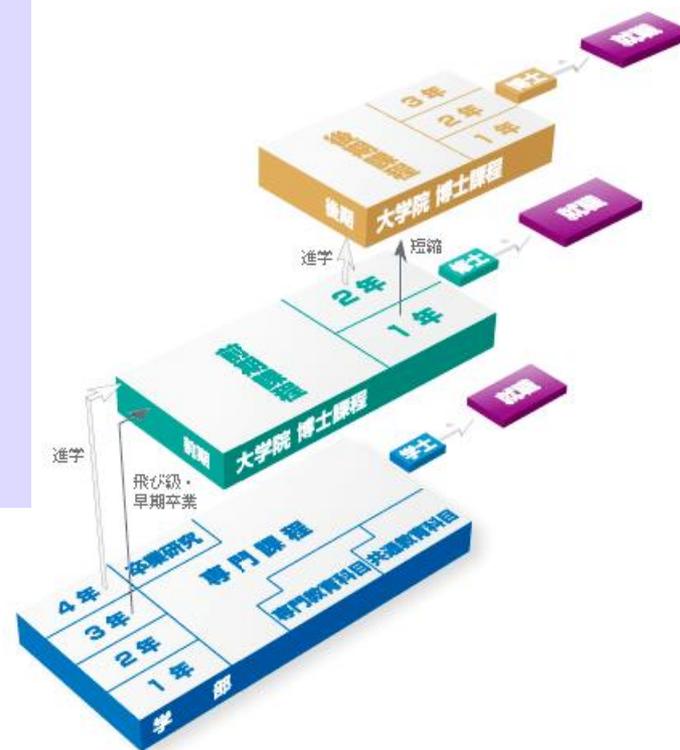
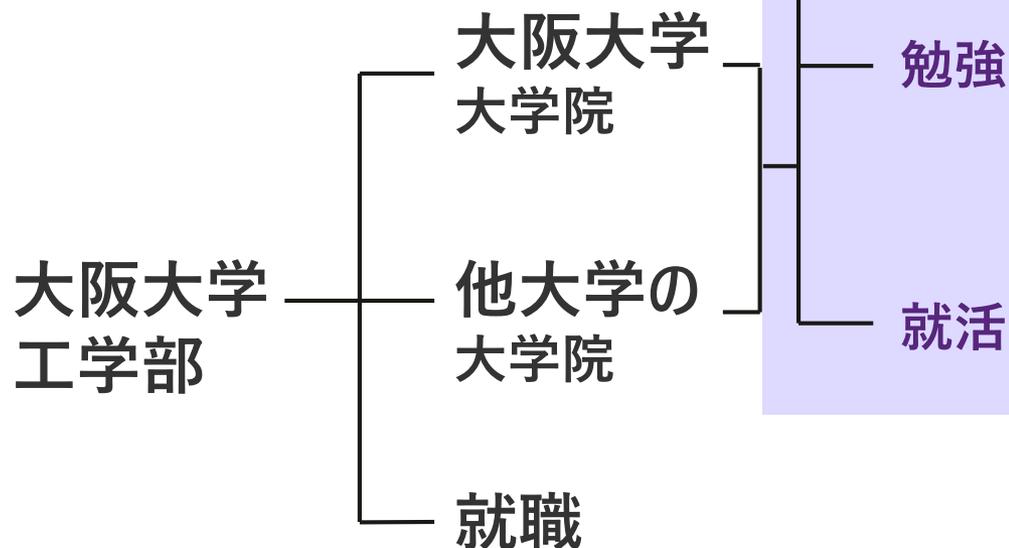
大阪大学大学院 工学研究科
マテリアル生産科学専攻 M1

内容とねらい

内容とねらい

目的 : 大学院進学を決定する際の参考になること

進路決定の全体観



大阪大学工学研究科
大学院進学-進路より

https://www.eng.osaka-u.ac.jp/ja/student/course_02.html



1. 研究

研究（一般的な話）

工学研究科の修士課程の修了には修士論文の提出が必要



社会人としての生きていくうえでの
基礎力を磨くことができる



一般的な社会人1年目

考え抜く力 (シンキング)

課題発見力

考え抜く力、問題発見能力、システムとして物事を考える力、ソーシャルとビジネスを融合する力、見えないものが見える力

計画力

高い倫理観を持ち正しい選択をする力、詰める力、金融的投資能力、未来を予想する力

創造力

抽象思考力、価値判断力

チームで働く力 (チームワーク)

発信力

傾聴力

柔軟性

状況把握力

規律性

ストレスコントロール力

Work As Life

(※)

協業力、ネットワーキング行動、多様な人たちとの繋がり、パートナー力、相手との壁を越えて多様性を活かす対話力、人間関係資本、関係構築能力、異文化集団に飛び込み(混沌、未知、異文化を受け入れ)信頼を勝ち得る(周囲を巻き込む)力

変化に前向きに対処する力、

感情を学ぶ、EQ (Emotional Intelligence Quotient)、情緒的資本

シチズンシップ、高い倫理観を持ち正しい選択をする力

前に踏み出す力 (アクション)

主体性

変化に前向きに対処する力、範囲を限定せずに主体的に動く力

働きかけ力

(※) 協業力、ネットワーキング行動、多様な人たちとの繋がり、パートナー力、相手との壁を越えて多様性を活かす対話力、人間関係資本、関係構築能力、異文化集団に飛び込み(混沌、未知、異文化を受け入れ)信頼を勝ち得る(周囲を巻き込む)力

実行力

詰める力、やり切る力、組織に隷属せず高い志を持ちピンで立てる力、チャレンジする力

新たな3つの視点

何を学ぶか

学び続ける力、「OS」と「アプリ」、マインドセットとキャリアオーナーシップ

どのように学ぶか

リフレクションと体験・実践、多様な能力を組み合わせる

どう活躍するか

自己実現や社会貢献に向けて、企業内外で主体的にキャリアを切りひらいていく



修士課程

考え抜く力 (シンキング)

課題発見力

考え抜く力、問題発見能力、システムとして物事を考える力、ソーシャルとビジネスを融合する力、見えないものが見える力

計画力

高い倫理観を持ち正しい選択をする力、詰める力、金融的投資能力、未来を予想する力

創造力

抽象思考力、価値判断力

チームで働く力 (チームワーク)

発信力

傾聴力

柔軟性

状況把握力

規律性

ストレスコントロール力

Work As Life

(※)

協業力、ネットワーキング行動、多様な人たちとの繋がり、パートナー力、相手との壁を越えて多様性を活かす対話力、人間関係資本、関係構築能力、異文化集団に飛び込み(混沌、未知、異文化を受け入れ)信頼を勝ち得る(周囲を巻き込む)力

変化に前向きに対処する力、

感情を学ぶ、EQ (Emotional Intelligence Quotient)、情緒的資本

シチズンシップ、高い倫理観を持ち正しい選択をする力

前に踏み出す力 (アクション)

主体性

変化に前向きに対処する力、範囲を限定せずに主体的に動く力

働きかけ力

(※) 協業力、ネットワーキング行動、多様な人たちとの繋がり、パートナー力、相手との壁を越えて多様性を活かす対話力、人間関係資本、関係構築能力、異文化集団に飛び込み(混沌、未知、異文化を受け入れ)信頼を勝ち得る(周囲を巻き込む)力

実行力

詰める力、やり切る力、組織に隷属せず高い志を持ちピンで立てる力、チャレンジする力

新たな3つの視点

何を学ぶか

学び続ける力、「OS」と「アプリ」、マインドセットとキャリアオーナーシップ

どのように学ぶか

リフレクションと体験・実践、多様な能力を組み合わせる

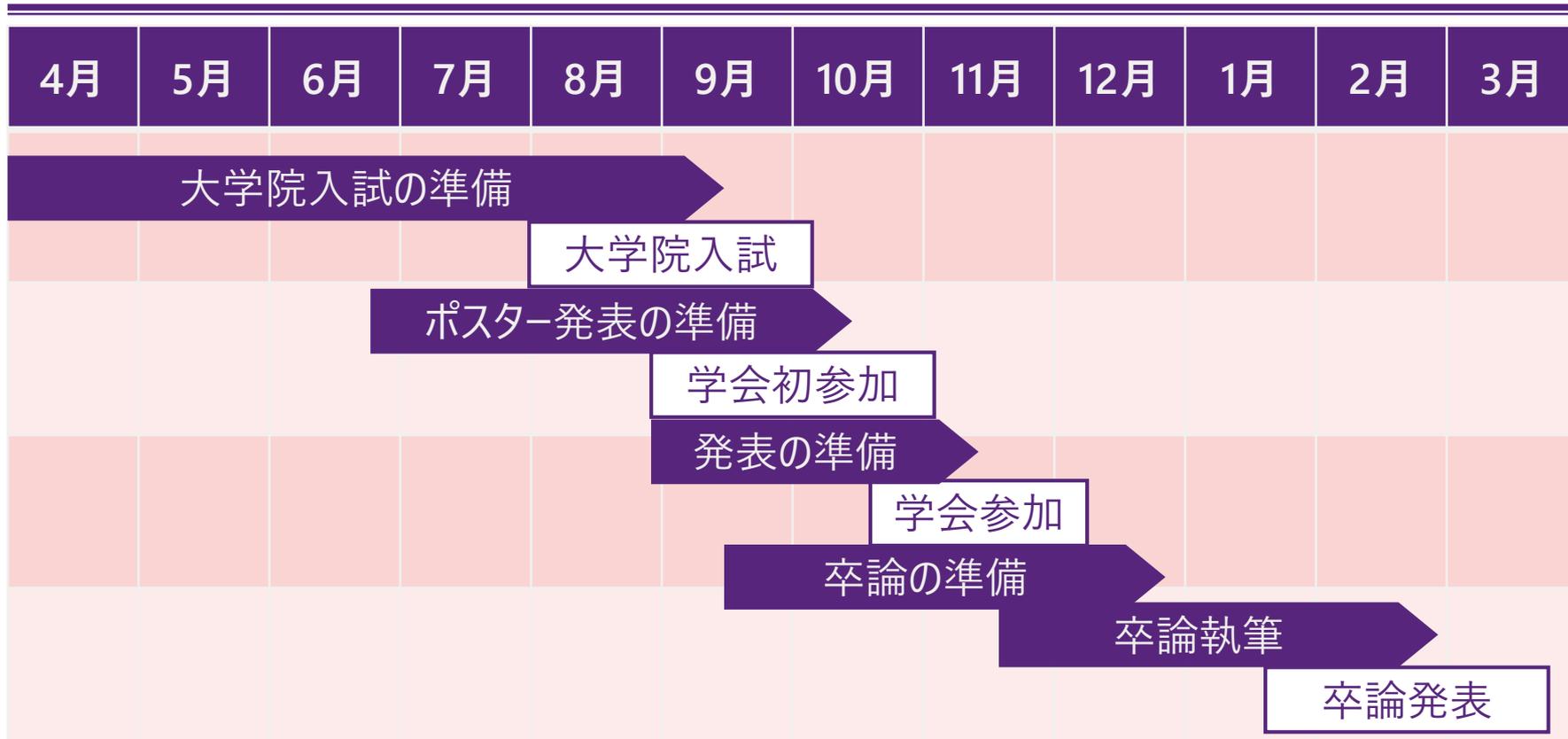
どう活躍するか

自己実現や社会貢献に向けて、企業内外で主体的にキャリアを切りひらいていく



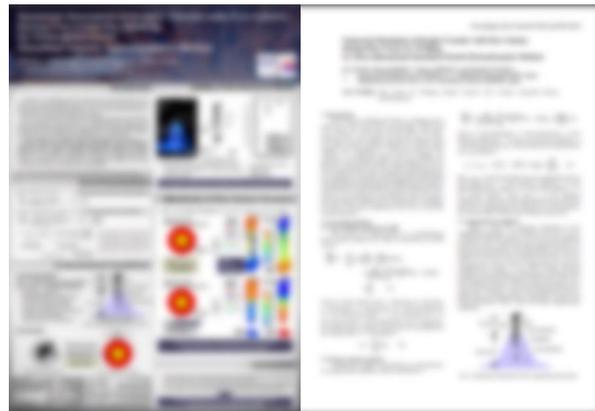
研究（私の場合）

4年生のころ



研究（私の場合）

修士1年

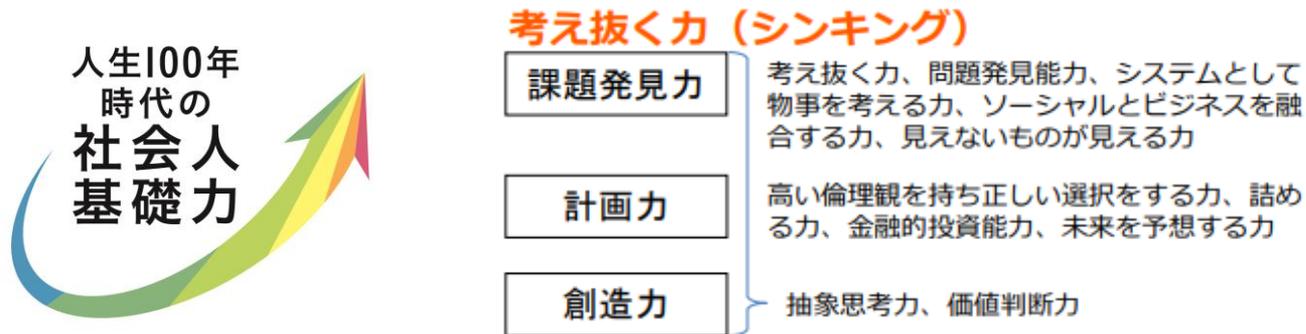


研究 – まとめ

学部の頃 : 1年間に2回のテスト期間



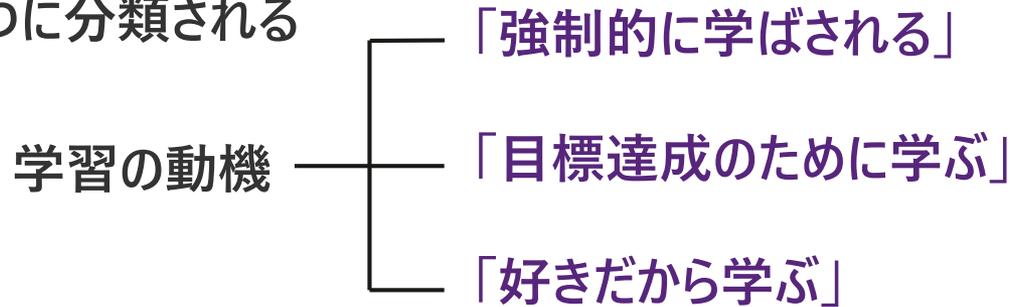
大学院では : 学部の頃に比べ締め切りが増え, スピード感が増す
締め切りの度に自分の研究の課題意識の再整理や
仮説の検証を行う必要がある



2. 勉強

勉強

学習の動機は3つに分類される



「強制的に学ばされる」

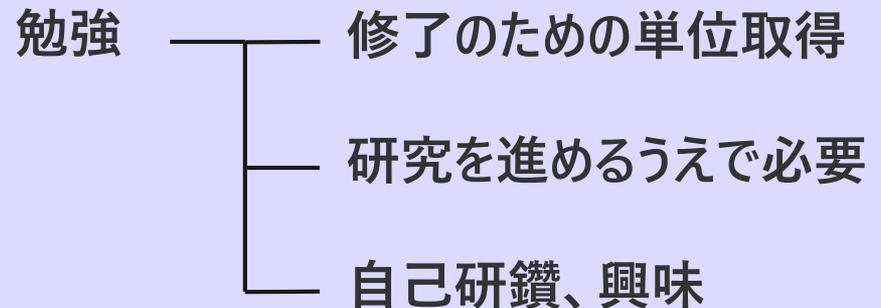
何を学ぶべきかが明確でない場合
(情報量が足りない)
(経験が浅い)

「目標達成のために学ぶ」

「好きだから学ぶ」

自分自身で取捨選択ができる場合
目標が存在する場合

大学院での勉強を分類すると



勉強

勉強

修了のための単位取得

研究を進めるうえで必要

自己研鑽、興味

工学研究科修了要件：
所定の授業科目について
30単位以上修得し、
かつ必要な研究指導を受け、
修士論文審査に合格すること

前期

実質9コマ
(3コマが副プログラム)

後期

多くの人が
修士1年のうちに
単位を取りきる

実質6コマ

勉強

勉強

修了のための単位取得

研究を進めるうえで必要

自己研鑽、興味

自分が所属する

主専攻の教育課程以外の内容

を学んだり、あるいは

主専攻の専門性を生かすための

関連分野を学ぶための教育プログラム



注) 講義のコマ数は専攻・コースによって異なるので注意が必要

勉強 - まとめ

アーク溶接は学際的

- 工学研究科で開講されている講義であれば修了要件に算入することができるので、他専攻の講義を積極的に受講
- 基礎工学部の開講する副プログラムを受講



まとめ

まとめ

修士課程の大学院生活はこんな感じです

研究



社会人としての生きていくうえでの**基礎力**を磨くことができる



勉強

修了のための単位取得

さまざまなシステムを用いて学習を進めることができる

研究を進めるうえで必要

自己研鑽、興味

就活

一般応募

修士だと不利職種なし



学年	1学期	2学期	3学期	4学期
1期	280002 インターフェイスメカニクス 単位 正入 I/R1-215	280002 インターフェイスメカニクス 単位 正入 I/R1-215	280002 インターフェイスメカニクス 単位 正入 I/R1-215	280002 インターフェイスメカニクス 単位 正入 I/R1-215
2期	280052 生体科学セミナー I/R1-215	331-303 協作特異材料プログラミング I/R1-215	280049 ジョイニングプロセス I/R1-215	280049 ジョイニングプロセス I/R1-215
3期	281037 プラスマ応用工学 I/R1-212	伊野 文彦 I/R1-215	280002 生体科学特別講義 I/R1-212	280002 生体科学特別講義 I/R1-212
4期			280002 生体科学特別講義 I/R1-212	280002 生体科学特別講義 I/R1-212
5期			280002 生体科学特別講義 I/R1-212	280002 生体科学特別講義 I/R1-212
6期			280002 生体科学特別講義 I/R1-212	280002 生体科学特別講義 I/R1-212

実質9コマ
(3コマが副プログラム)

多くの人が
修士1年のうちに
単位を取りきる

参考文献



大阪大学接合科学研究所
「アクセスマップ」より
<http://www.jwri.osaka-u.ac.jp/index.jsp>



大阪大学工学研究科
大学院進学-進路 より
https://www.eng.osaka-u.ac.jp/ja/student/course_02.html



経済産業省「人生100年時代の社会人基礎力」より
https://www.meti.go.jp/committee/kenkyukai/sansei/jinzairyoku/jinzaizou_wg/pdf/007_06_00.pdf



リクルートマネジメントソリューションズ
「大人の「学ぶ力」は高められるか」より
https://www.recruit-ms.co.jp/research/journal/pdf/j201411/m37_all.pdf

LS (ラーニングサポーター)

- 学習支援
- 進路の相談
- TOEIC、大学院入試について

<https://www.library.osaka-u.ac.jp/rikou/ta/>



座談会

後半は、座談会です。
この機会に、院生の先輩に聞きたいこと、
何でも聞いてください。